

登録コード	HM101200	開講年度	2026					
授業題目	発生学特論				担当教員	城倉 浩平 他		
英文授業名	Embryology				副担当	YUE FENGMING・友常 大八郎		
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	
講義室				授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	(授業の達成目標)		
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM医学分野初							
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能				⇔	発生学分野における基本的な知識を修得できるようになる。		
(2)詳細/Detailed information	発生学は、一個の受精卵から一個体の成り立ちを説明することを目的とするが、当初の現象解明から、細胞生物学、分子生物学を基盤にした分子機構の解明へと変化している。細胞間相互作用を軸に、発生のプロセスを、遺伝子、分子の動態から考える。							
(3)授業の概要/Overview of course	受精から器官形成までを主な対象とする。発生過程の主要なイベントと細胞分化、それに与る遺伝子発現・分子機構について、複数教員によるオムニバス方式で講義する。							
(4)授業計画/Course plan	第1回～第5回 受精から着床まで 第6回～第10回 初期発生 第11回～第15回 器官形成							
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	成績評価の方法： 中間試験50点、期末試験50点。合計100点 成績評価の基準： 発生学に関する知識を測る試験（中間と期末）の合計点が、60-69点は「水準にある(可)」，70-79点は「やや上にある(良)」，80-89点は「かなり上にある(優)」，90点以上は「卓越している(秀)」とする。							
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	履修上の注意： 学会出席などの場合を除き、出来る限り出席すること。 事前事後学習の内容： 配布資料や発生学に関する参考書等を読み、授業内容を毎回復習してから次の授業に臨むこと。							
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	質問・相談は、各担当教員のオフィス（医学部基礎棟4階 組織発生学教室）へ来てください。不在の場合は、教室の事務室で予定を確認してください。							
(8)授業の形式/Course format	PCを用いたスライド供覧による講義を行う。適宜参考資料を配布する。							